

市議団ニュース

連絡先

2016年11月20日号

杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058

石田利春 52-7260 平間益美 23-9519

【議員団控室（市役所4F）の住所・久喜市下早見85-3】

「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

日本共産党
久喜市委員会
久喜市議団

2017年度予算要望書提出しました！



田中市長に市民からの要望書を手渡す久喜市委員会、議員団

市に198項目、国・県に60項目

11月4日、日本共産党久喜市議団は、党市委員会の市政対策部のメンバーとともに、これまで寄せられた市民の要望を取りまとめ、田中市長に手渡ししました。福祉を後退させ、国民負担増を押し付ける安倍政権の暴走が続く中、久喜市はこうした国の荒波から、市民の暮らしをまもる「防波堤」になることが求められています。田中市長からは、要望をしっかりと受け止め、検討するとの表明がありました。

主な要望項目

- 〔一〕憲法を生かした市民の暮らしと権利を守る「ルールある経済社会」をめざすこと
- ◆市発注の契約では、孫請けの業者まで、最低賃金や労働条件など、市が調査をし、ルールある働き方を保障すること。
- 〔二〕医療、福祉の充実をはかり、市民生活を守ること
- ◆済生会栗橋病院の加須市への移転は、白紙撤回をさせ、現地存続をめざすこと。
- ◆新久喜総合病院で働くすべての労働者が安心して働けるように、助言、支援を行なうこと。
- ◆要支援者や要介護1、2の「軽度者」を介護保険制度から切り捨てさせないような努力を。
- 〔三〕生活環境を整備し、安全・安心で暮らしやすい街づくりをめざすこと
- ◆JR東鷲宮駅、栗橋駅の早朝無人化は反対し、有人化を求めよう
- 〔四〕教育・文化・スポーツの向上をはかるために
- ◆小中学校の「統廃合」は、合意形成のない無理な進め方はしないこと。若い世代や、子どもを増やすことに力を注ぐこと。
- ◆学校給食は、自校方式を計画的に拡大すること。菖蒲のセンターは廃止せず継続使用すること。
- 〔五〕市内商工業と農業の営業を守り振興をはかるために
- ◆商工業や農業については、振興に向けて、抜本的な施策や、支援策を講じること。
- 〔六〕地方政治の充実と地方財政の確立を
- ◆清掃センターを菖蒲の一角所に統合する計画は、収集業務の上でさまざまな問題がある。ごみの焼却を最小限にするための計画を立てること。
- 〔七〕地域の居住環境から地球環境までを守るために
- ◆危険なオスプレイ配備や、高江村ヘリパッド建設強行に、各自治体とともに反対をすること。
- 〔八〕東日本大震災の対策と支援をつよめるために
- ◆【南栗橋地域の液化化被害対策】について
- ◆液化化対策事業の事前調査結果を住民に届け、また、他の情報もすべて届けること
- 〔九〕理科大撤退後のまちづくりは、なによりも市民合意と環境を大切にすすめること
- ◆跡地に大型の物流施設建設が進められようとしている。環境が大きく悪化することが心配されている。環境への影響評価をすること。
- ◆地区計画は、まず、地元住民との協議を優先すること。
- ◆完成後の各施設には、全市からデマンドバスでアクセスできるようにすること。

介護保険決算

問題点を指摘



平成27年度は3年に一度の介護保険制度の改正で、65歳以上の方の負担は、基準月額4673円となり月277円、年間3324円と高齢者への大きな負担増となりました。その他にも大きく制度が変わりかなり問題です。以下指摘します。

一、特養ホームの入所基準「要介護3以上に限定」では入所が狭められる。

二、要支援1・2の訪問・通所サービスを介護給付から外したことにより、多様なサービスへ切り替えてしまえば後退になりかねない。

三、所得160万円以上の層に「利用料2割」を導入635人の方に影響がでた。これまでも同じ利用で5万円の利用だったものが10万円になる。

四、特養ホームの待機者は227人。介護報酬引き下げで職員不足が課題となっている。これ以上の制度後退は、死活問題で許されない。

安倍暴走政治から市民の暮らしをまもる防波堤に！

認知症対策や配食サービス、児童館事業、5市の事業から精力的に学ぶ

高崎市

高崎まちなか

「ミニシティサイクル 高チャリ」を視察

この事業の目的は①中心市街地のにぎわい創出②中心市街地の回遊性向上③CO2の削減④放置自転車減少と自転車マナーの向上です。

市内中心市街地にサイクルポートと呼ばれる貸出拠点16箇所を設置し、無料で自由に誰でも借りられ、(150台)ポートのどこでも返却できるものです。実際に乗ってみました。一旦100円をキーボックスに入れ(スーパードカート借りる要領)市内を走り、広い歩道などの公共用地に隣接しにぎわいを創出する「まちなかカフェ」に立ち寄りました。サイクルポートは物作りの職人、市内の大学生もサポートし、自転車の購入費約3万円は企業からの広告収入で賄えています。街ぐるみの事業で素敵な取り組みです。

365日3食利用可能な配食サービス

配食サービスは、久喜市でも一人暮らしで65歳以上、日常的に調理が困難な方に1食300円で、月々土曜日、安否確認も実施しています。

高崎市は、朝食(200円)昼・夕食(350円)

で3食を365日提供し、事業者も選べることであります。利用するには「基本

チェックリスト」を作成し、利用者、ケアマネ、ヘルパ

ー、家族、事業者で個別ケア会議を持ち、必要な人に

必要なサービスが届くようにしています。安否確認の

為手渡しです。久喜市も高崎市の先進部分を加え、

必要な人に必要なサービスが届くよう改善すべきだと思います。



高チャリに乗る渡辺議員

草加市

草加市内の児童館で



認知症の早期発見

草加市では、早期発見、早期治療のため、無料の「認知症検診」を実施しています。草加市と八潮市にある指定医療機関で「脳の健康度チェック表」に記入し、その後医師から診療を受けます。内容は「最近、家族から物忘れがあると指摘されたか」とか「野菜の名前を10個挙げられますか」などです。

こうした簡単なチェックで早期発見につながる

ことになります。また、家族に対しても認知症に

対する正しい知識を提供しようという努力が見られます。

同時に、草加市の地元医師会が健診をリードし

普段からの見守りや、検診から治療までの各段階で積極的なリードが見られました。

草加市の児童館

ゼロ歳からの「ピヨピヨ広場」あんよがでできる「よちよちクラブ」から2・3才の「幼児の広場」の現場を見学。大勢の若い親子が交流していました。

午後は、併設する学童の子供たちで園庭がいっぱいになるそうです。

近くの農園で「さつま芋の収穫体験」の企画も。

書ききれないのが残念ですが、館長、職員さんが

予算の少ない中で、猛奮闘している姿がとても印象的でした。



草加市で座学を受ける議員団です

越谷市、春日部市、白岡市

越谷の児童館コスモス

児童に健全な遊びや各種事業を通して子どもたちの健康を増進し、情緒を豊かにすることを目的としています。

1階は「遊びと創造の階」2階は「天文・宇宙の階」で、宇宙展示コーナーやプラネタリウム室がありま

す。子どもたちの興味をそそるものばかりです。3階は「科学体験の階」で、屋

上での天体観望会も行われています。入館者は平成23

年度が9万9千人だったのが、平成27年度は12万2千

人にまで増えていきます。

春日部の児童館

エンゼル・ドーム

春日部市出身の「クレヨンしんちゃん一家」が迎えてくれました。

1階にはプレイルームや、パソコンコーナー、誰

でも無料で使える調理室などがあります。何より子どもたちを夢中にさせるのは

屋外の遊具で、ローラーすべり台や夏には大好きな水

遊びができるひょうたん池、水中に向かっての滑り

台ウォーターライダーがあります。

エンゼルドームのしんちゃん



久喜市児童館のありがたは

児童館は、保護者と子どもたちが、安心して過ごせる場所であればなりません。また、子どもたちにとっての児童館は、色々な物に接し、多くの友達と関わりあいながら成長していく場所です。

久喜市もこれから設置予定の児童館を含めて、お母さんの願いや、子どもたちの要望を取り入れ、「成長の糧となる児童館」にしなければなりません。



児童館にプラネタリウムが！